

1 主な修正の内容

頁	項目名	修正内容
1 2	1-2 計画の役割と位置付け (1) 計画の役割	・「④ 地域特性に応じた多様な交通サービスによるネットワーク構築を目指す」を②に移し、全体の順番を調整。 ・「6-2 計画の目標」の記載に準じた記載順序とともに、ハード面の公共交通ネットワークに係る内容の①と、ソフト政策に係る内容の④の順序を連続させることで、ネットワーク構築に係る役割として読み込みしやすくする。
2 2	1-2 計画の役割と位置付け (2) 計画の位置付け	・「また、阿武隈急行線沿線地域の持続可能なまちづくりとの一体性の確保を図り、沿線地域の活性化に資する計画とする。」を追記。 ・沿線自治体の上位・関連計画等で定める将来都市像等の実現に向けてのみ取り組むと読めてしまうため、「沿線地域の活性化」に係る記載を追加する。
3 2 1	7-2 各事業の内容 (1) 阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワーク構築とサービス提供 沿線地域公共交通の路線再編	・事業内容の「■駅に接続するネットワークの形成」文中の、「大型商業施設の新設など」に係る記載を「イオンモール伊達」に係る記載に差し替え。 ・「イオンモール伊達」の開業に係る対応はほぼ確実に発生する状況であることから、具体的に記載する。
4 2 3	7-2 各事業の内容 (3) 利用ニーズに対応したサービスの提供 利用ニーズに応じたダイヤの見直し	・事業内容に、「共用区間や乗り入れ区間を有するJR東日本と協議の上、」を追記。 ・ダイヤの見直しに当たって関係の深いJR東日本について追記する。
5 2 4 2 7 3 2	7-2 各事業の内容 (4) 駅を中心としたまちづくりの推進 利用者とのコミュニケーション強化 (6) 沿線企業・施設等との連携による公共交通の利用拡大 沿線企業・学校とのコミュニケーション強化 (9) 阿武隈急行(株)の経営改善 組織間の役割分担と有機的連携の強化	・中間案の31頁に「関係者とのコミュニケーション強化」として記載されていた内容を分解し、該当する事業の項目に追記。 ・利用者とのコミュニケーションと組織間の役割分担に係る内容が一つの事業として記載されていたため、利用者とのコミュニケーションに係る部分を24、27頁に、組織間の役割分担に係る部分を32頁に記載する。
6 2 9	7-2 各事業の内容 (7) 交流人口拡大のための沿線地域の魅力創出 沿線観光資源を活用した需要開発	・事業内容に「■リピーターの獲得」を追記。 ・観光需要を安定的な利用に結びつけるために重要な視点である「リピーターの獲得」について記載する。

2 新旧対照表

新	旧
1. はじめに 1-1 (略)	1. はじめに 1-1 (略)
1-2 計画の役割と位置付け (1) 計画の役割 本計画は、以下の6つの役割を担うものである。 ①阿武隈急行線沿線地域の“広域的”な地域公共交通のマスタープランとして、地域にとって望ましい阿武隈急行線を中心とした公共交通ネットワークの姿を明らかにする（ビジョン及び施策体系） ②地域特性に応じた多様な交通サービスによるネットワーク構築を目指す ③阿武隈急行の持続可能な経営に資する ④阿武隈急行線沿線地域の持続可能なまちづくり（都市計画、商業、観光振興、教育など）の取組との一体性を確保する ⑤地域・企業など多様な関係者との連携を促進する ⑥具体的な数値目標とPDCAサイクルにより、計画の達成に向けた継続的な改善を推進する (2) 計画の位置付け 計画は、沿線3市2町及び2県の上位・関連計画（総合計画、都市計画マスタープラン等）や公共交通関連計画等との整合・連携を図り、それら計画で定める将来都市像等の実現に向けて、地域公共交通のマスタープランとして策定する。 <u>また、阿武隈急行線沿線地域の持続可能なまちづくりとの一体性の確保を図り、沿線地域の活性化に資する計画とする。</u>	1-2 計画の役割と位置付け (1) 計画の役割 本計画は、以下の6つの役割を担うものである。 ①阿武隈急行線沿線地域の“広域的”な地域公共交通のマスタープランとして、地域にとって望ましい阿武隈急行線を中心とした公共交通ネットワークの姿を明らかにする（ビジョン及び施策体系） ②阿武隈急行の持続可能な経営に資する ③阿武隈急行線沿線地域の持続可能なまちづくり（都市計画、商業、観光振興、教育など）の取組との一体性を確保する ④地域特性に応じた多様な交通サービスによるネットワーク構築を目指す ⑤地域・企業など多様な関係者との連携を促進する ⑥具体的な数値目標とPDCAサイクルにより、計画の達成に向けた継続的な改善を推進する (2) 計画の位置付け 計画は、沿線3市2町及び2県の上位・関連計画（総合計画、都市計画マスタープラン等）や公共交通関連計画等との整合・連携を図り、それら計画で定める将来都市像等の実現に向けて、地域公共交通のマスタープランとして策定する。
1-3～7-1 (略)	1-3～7-1 (略)
7-2 各事業の内容 (1) 阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワーク構築とサービス提供	7-2 各事業の内容 (1) 阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワーク構築とサービス提供
沿線地域公共交通の路線再編	沿線地域公共交通の路線再編
実施主体 中心的立場：バス事業者、福島市、伊達市、角田市、丸森町 補助的立場：福島県、宮城県、阿武隈急行(株)	実施主体 中心的立場：バス事業者、福島市、伊達市、角田市、丸森町 補助的立場：福島県、宮城県、阿武隈急行(株)
事業目的 阿武隈急行線とともに地域の基幹交通を担う路線バスについて、阿武隈急行線と連携した機能強化や効率化を図るために、路線の再編を行う。 また、駅から離れた居住地や目的施設等をつなぐ交通手段として、駅を拠	事業目的 阿武隈急行線とともに地域の基幹交通を担う路線バスについて、阿武隈急行線と連携した機能強化や効率化を図るために、路線の再編を行う。 また、駅から離れた居住地や目的施設等をつなぐ交通手段として、駅を拠

	点としたバス交通のネットワークを形成する。		点としたバス交通のネットワークを形成する。
事業内容	<p>■基幹交通を担うバスネットワークの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿武隈急行線と路線バスの役割分担を明確化 <p>■駅に接続するバスネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地から駅、駅から目的施設までのバス路線の再編 ・鉄道とバス交通の接続性の改善（「イオンモール伊達」の開業（2026年下期予定）など、沿線の人流に大きな影響を及ぼす事象に際しては、阿武隈急行線と路線バスとの相乗効果が得られるよう、相互に連携して乗継バス停の位置や乗継ダイヤを調整） <p><u>＜例＞</u></p> <p>周辺の鉄道駅とイオンモール伊達を繋ぐバス路線として検討されている「鉄道アクセス線（仮称）」と連携した運行ダイヤの調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から離れている観光資源への交通手段の確保 		<p>■基幹交通を担うバスネットワークの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿武隈急行線と路線バスの役割分担を明確化 <p>■駅に接続するバスネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地から駅、駅から目的施設までのバス路線の再編 ・鉄道とバス交通の接続性の改善（大規模商業施設の新設など、沿線の人流に大きな影響を及ぼす事象に際しては、阿武隈急行線と路線バスとの相乗効果が得られるよう、相互に連携して乗継バス停の位置や乗継ダイヤを調整） <p>――</p> <p>――</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から離れている観光資源への交通手段の確保

(2) (略)

(3) 利用ニーズに対応したサービスの提供

利用ニーズに応じたダイヤの見直し	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株) 補助的立場：福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町
事業目的	利用者ニーズに応じたダイヤ改正により、移動需要の取り込みを図る。
事業内容	・最も多く利用されている朝夕の通勤・通学時間帯を始め、利用状況が異なる土休日等の移動需要を取り込むため、時間帯に限らず、区間別の利用状況を踏まえながら、 共用区間や乗り入れ区間を有するJR東日本と協議の上、 ダイヤの見直しや運行本数の設定を行う。

(4) 駅を中心としたまちづくりの推進

利用者とのコミュニケーション強化	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町 補助的立場：――

(2) (略)

(3) 利用ニーズに対応したサービスの提供

利用ニーズに応じたダイヤの見直し	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株) 補助的立場：福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町
事業目的	利用者ニーズに応じたダイヤ改正により、移動需要の取り込みを図る。
事業内容	・最も多く利用されている朝夕の通勤・通学時間帯を始め、利用状況が異なる土休日等の移動需要を取り込むため、時間帯に限らず、区間別の利用状況を踏まえながら、 ダイヤの見直しや運行本数の設定を行う。

(4) 駅を中心としたまちづくりの推進
(新設)

<u>事業目的</u>	利用者のニーズを的確に把握し、阿武隈急行線の利便性と魅力向上に繋げるため、利用者とのコミュニケーション強化を目指す。
<u>事業内容</u>	・学校、企業、観光など多様な分野の関係者が参画している「阿武隈急行線沿線地域公共交通協議会」など既存の会議体の枠組みにとらわれるこ ^{となく、あらゆる機会を捉えて利用者とのコミュニケーションを強化し、関係構築を図る。また、利用者ニーズを的確に把握し、その結果を経営改善策に反映させるとともに、得られた知見を沿線自治体のまちづくりにも活用していく。}

(5) (略)

(6) 沿線企業・施設等との連携による公共交通の利用拡大

<u>沿線企業・学校とのコミュニケーション強化</u>	
<u>実施主体</u>	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町 補助的立場：-
<u>事業目的</u>	定期利用者のニーズを的確に把握し、安定的な定期利用者の確保に繋げるため、沿線企業や学校とのコミュニケーション強化を目指す。
<u>事業内容</u>	・定期利用者の通勤、通学先である沿線企業や学校とのコミュニケーションを強化し、関係構築を図ることにより、利用者数の6割以上を占める定期利用者のニーズを把握し、定期利用者の維持、拡大を目指す。 ・沿線企業や学校との関係構築は、阿武隈急行(株)が中心となって取り組むものとし、相手方の状況等に応じて、自治体も連携して対応していく。

(5) (略)

(6) 沿線企業・施設等との連携による公共交通の利用拡大
(新設)

(7) 交流人口拡大のための沿線地域の魅力創出	
沿線観光資源を活用した需要開発	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町、地域団体、沿線施設・企業等 補助的立場：－
事業目的	新たな地域の魅力を創出し、鉄道利用増や地域の活性化に貢献する。
事業内容	<p>■地域と連携した観光資源の創出・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の活動団体・施設・企業等とのつながりにより、地域資源と鉄道資源を組み合わせ、新たな地域の魅力を創出する。 <p>■観光周遊ルートの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の観光地等を周遊するルートや、宮城県・福島県を跨ぐ広域観光ルートなどを含めて、世代別、属性別に魅力的なルート造成やツアー企画を目指す。 <p>■リピーターの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成したルートやツアー企画を継続、定着させることで、リピーターの獲得を目指す。

(8) (略)	
(9) 阿武隈急行(株)の経営改善	
組織間の役割分担と有機的連携の強化	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町、福島交通（株） 補助的立場：－

(7) 交流人口拡大のための沿線地域の魅力創出	
沿線観光資源を活用した需要開発	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町、地域団体、沿線施設・企業等 補助的立場：－
事業目的	新たな地域の魅力を創出し、鉄道利用増や地域の活性化に貢献する。
事業内容	<p>■地域と連携した観光資源の創出・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の活動団体・施設・企業等とのつながりにより、地域資源と鉄道資源を組み合わせ、新たな地域の魅力を創出する。 <p>■観光周遊ルートの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の観光地等を周遊するルートや、宮城県・福島県を跨ぐ広域観光ルートなどを含めて、世代別、属性別に魅力的なルート造成やツアー企画を目指す。

(8) (略)	
(9) 阿武隈急行(株)の経営改善	
組織間の役割分担と有機的連携の強化	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町、福島交通（株） 補助的立場：－

(8) (略)	
(9) 阿武隈急行(株)の経営改善	
関係者とのコミュニケーション強化	
実施主体	中心的立場：阿武隈急行(株)、福島県、宮城県、福島市、伊達市、角田市、柴田町、丸森町、福島交通（株） 補助的立場：－

事業目的	「阿武隈急行線在り方検討会 提言」で示された経営改善策を着実に実行するため、既存会議体の役割分担を整理するとともに、各会議体の特性を活かした有機的連携を目指す。
事業目的	「阿武隈急行線在り方検討会 提言」で示された経営改善策を着実に実行するとともに、利用者のニーズを的確に把握し、阿武隈急行線の利便性と魅力向上に繋げるため、関係者によるコミュニケーションの強化を目指す。

	<p>■主に経営改善策の着実な実行に関すること 取締役会や、阿武隈急行線再生支援協議会を中心として、関係者間のコミュニケーションを強化し、経営改善策の実効性確保を図る。</p> <p>○取締役会 会社の経営に関する重要事項の決定や、業務執行の監督を行うための会議体</p> <p>○阿武隈急行線再生支援協議会 阿武隈急行株式会社の経営努力と沿線地域の支援の下に、阿武隈急行線の活性化と再生を図ることを目的とした会議体</p> <p>■主に利用者ニーズの的確な把握、阿武隈急行線の利便性と魅力向上に関すること 自治体や会社だけでなく、学校、企業、観光など多様な分野の関係者が参画している法定協議会や、沿線自治体と会社で構成された沿線開発推進協議会の趣旨を踏まえて、沿線地域との合意形成や地域のニーズに則した事業検討の場として更なる活性化を図る。</p> <p>○阿武隈急行線沿線地域公共交通協議会（法定協議会） 公共交通計画の策定及び実施に関する協議を通じて、阿武隈急行線沿線全体の、地域にとって望ましい持続可能な公共交通網の形成を目指す会議体</p> <p>○阿武隈急行沿線開発推進協議会 阿武隈急行線の運営支援並びに沿線開発の促進を図るために、沿線市町と阿武隈急行（株）によって組織された会議体</p> <p>各会議体が、それぞれの設置趣旨に基づく役割を果たすとともに、沿線地域の価値向上や阿武隈急行（株）の経営改善等の共通目的を踏まえて、相互に連携を図る。</p>		<p>す。</p> <p>■主に経営改善策の着実な実行に関すること 取締役会や、阿武隈急行線再生支援協議会を中心として、関係者間のコミュニケーションを強化し、経営改善策の実効性確保を図る。</p> <p>○取締役会 会社の経営に関する重要事項の決定や、業務執行の監督を行うための会議体</p> <p>○阿武隈急行線再生支援協議会 阿武隈急行株式会社の経営努力と沿線地域の支援の下に、阿武隈急行線の活性化と再生を図ることを目的とした会議体</p> <p>■主に利用者ニーズの的確な把握、阿武隈急行線の利便性と魅力向上に関すること 自治体や会社だけでなく、学校、企業、観光など多様な分野の関係者が参画している法定協議会や、沿線自治体と会社で構成された沿線開発推進協議会の趣旨を踏まえて、沿線地域との合意形成や地域のニーズに則した事業検討の場として更なる活性化を図る。</p> <p>○阿武隈急行線沿線地域公共交通協議会（法定協議会） 公共交通計画の策定及び実施に関する協議を通じて、阿武隈急行線沿線全体の、地域にとって望ましい持続可能な公共交通網の形成を目指す会議体</p> <p>○阿武隈急行沿線開発推進協議会 阿武隈急行線の運営支援並びに沿線開発の促進を図るために、沿線市町と阿武隈急行（株）によって組織された会議体</p> <p>■その他全般に関すること 各会議体の枠組みにとらわれず、関係者とのコミュニケーション強化による関係構築を図り、利用者ニーズを把握し、経営改善策に反映していく。</p>
--	---	--	--

8. 計画目標の達成状況の評価 8-1～8-3 (略) 参考資料 (略)	8. 計画目標の達成状況の評価 8-1～8-3 (略) 参考資料 (略)
--	--